

9月定例会の審議結果

9月定例会で審議した市長提出議案37件、議員提出議案11件の審議結果は、次のとおりです。

(○ = 賛成、× = 反対)

自 民 党 = 自由民主党京都市議員団(23人) 共 産 党 = 日本共産党京都市議員団(19人)
 民主・都 = 民主・都みらい京都市議員団(14人) 公 明 党 = 公明党京都市議員団(12人) 無 所 属(1人)

審議結果	会 派 名				
	自 民 党	共 産 党	民 主 都	公 明 党	無 所 属
18年度決算 特別会計(地域水道、京北地域水道、特定環境保全公共下水道) 公営企業会計(病院事業、水道事業、公共下水道事業、高速鉄道事業) 公営企業会計(自動車運送事業)	○	○	○	○	○
19年度補正予算案 一般会計	○	○	○	○	○
条例制定案(条例整備等) 学校教育法等の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例	○	○	○	○	○
条例改正案 市長の資産等の公開に関する条例、個人情報保護条例、職員の育児休業等に関する条例、地域体育館条例、宇多野コース・ホテル条例、衛生関係手数料条例、都市計画関係手数料条例、京都都市計画(京都国際文化観光都市建設計画)職住共存特別用途地区建築条例、京都都市計画(京都国際文化観光都市建設計画)御池通沿道特別商業地区建築条例、地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例 職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例、職員退職手当支給条例、職員の退職料等に関する条例	○	○	○	○	○
その他の議案 工事委託契約の締結(京福電気鉄道嵐山線路面電車停留場整備)、指定管理者の指定(宇多野コースホテル)、市道路線の認定、市道路線の廃止、事業実施契約の締結(伏見区総合庁舎整備等)、製造請負契約の締結(消防防災通信ネットワーク整備)、訴えの提起(裁判上の和解を含む。)訴えの提起、訴訟上の和解 不動産の処分 名誉市民の表彰 2件、監査委員の選任 人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○
議員提出案 市議員の資産等の公開に関する条例の一部改正、原爆症認定と被爆者救済対策強化についての意見書、割賦販売法の抜本的改正に関する意見書、国民皆保険制度等に関する意見書、自立更生促進センター設置計画に関する意見書、地上デジタル放送の難視聴解消のための施策を求める意見書、中小企業の事業承継円滑化のための税制改正を求める意見書 嫡出推定に関する民法改正と更なる運用見直しを求める意見書 障害者福祉制度の充実に関する意見書 テロ特別措置法を延長せず、またそれに代わる新法の制定をすることなく、真の国際協力の実現を求める意見書 テロ特別措置法の延長及び新法に反対する意見書	○	○	○	○	○

公営企業等決算特別委員会の審査

9月定例会では、18年度公営企業会計等の決算を審議するため、9月10日に公営企業等決算特別委員会を設置し、病院、水道、公共下水道、自動車運送(バス)、高速鉄道(地下鉄)、地域水道などの決算を付託し、局別の質疑や市長・副市長に対する総括質疑を行うなどの審査を行いました。10月5日の本会議で委員長から審査の経過と結果の報告があり、報告の後、付託決算の議決を行い、すべて認定しました。

なお、18年度公営企業会計決算に付けた意見(全文)は次のとおりです。

○ = 付けた意見に対し賛成
 × = 付けた意見に対し反対

【病院事業特別会計】

1 京都市立病院及び市立京北病院事業において、医師、看護師確保が喫緊の課題となっている。市立京北病院においては2年にわたって整形外科医が確保できず、市民の医療サービス、更には病院の収益にも大きく影響を与えている。よって、市立京北病院は常勤の整形外科医を早急に確保すべきである。
 さらに、両病院とも医療サービスのレベルを低下させないよう、国への要望を強めるなど、常勤の医師、看護師の確保に万全を期すとともに、離職防止対策についても十分に取り組むべきである。
 特に、医師の確保策については、他都市の市立病院の状況を調査のうえ、組織的な研究チー

ムを設置し、給与など処遇の改善や長時間にわたる勤務時間の改善等について踏み込んだ検討を早急に行うこと。

2 市立京北病院については、経営改善に向けて平成18年9月に「京都市立京北病院あり方検討委員会」が設置され、さまざまな対策が検討、実施されようとしている。しかし、平成17年度以来の大きな課題である常勤の整形外科医がいまだに確保できておらず、今後、市立京北病院だけで問題解決するのは大変難しいと言わざるを得ない。

よって、これまで以上に京都市立病院との連携を深めるとともに、京北地域の住民の意向を最大限に反映されるよう努めるべきである。

3 京都市立病院整備計画については、市民に安心され、信頼される総合病院としての機能を十分に果たすために、ユニバーサルデザインの理念も考慮し、早期建設整備に向け全力で取り組むべきである。(全会一致)

【水道事業特別会計】

1 最近、老朽化した鉄管の破損が原因で、伏見区、右京区と相次いで漏水事故が発生した。現在、平成20年度を目標に老朽化した鉄管すべてを強じん性、耐久性に優れたダクタイル鉄管に布設替えしている。その後も、掘削規制や国道共同溝関連などで工事ができない部分があるが、平成21年度以降できるだけ早期に完成させること。
 2 鉛管取替を早期に行うこと。(全会一致)

【自動車運送(バス)事業特別会計】

1 市民の足としての利便性を一層確保し、市バス事業の効率化を進めるため、「小型バス・ジャンボタクシー実証実験」を踏まえ、生活支援路線への活用、普及、拡大を積極的に検討すべきである。(全会一致)

2 市バス路線は国の指導の下、2分の1まで管理の受委託を拡大してきたが、その経費として18年度、38億4,800万円もの委託料を支出している。ついては、その運行を常に精査し、効率の悪い路線を見直すとともに、潜在需要を掘り起こすことにより市民の足の拡大を図ること。(自、共×、民×、公、無)

【高速鉄道(地下鉄)事業特別会計】

1 大都市の根幹交通機関である地下鉄の建設は膨大な投下資本を有し、本市としても東西に拡充された。現在、市民、観光客の利便に寄与しているが、いまだ当初の目標乗客数が確保されていない状況を踏まえ、乗客の増加を求めて抜本的に駅周辺の活性化を図ること。

2 駅の清掃委託事業における入札については、透明性を確保すること。(全会一致)

【水道事業、公共下水道事業、自動車運送(バス)事業及び高速鉄道(地下鉄)事業各特別会計】

企業債の償還負担をできる限り軽減するため、低利なものに借換えできるよう、あらゆる工夫をすること。(全会一致)

(平成19年10月5日現在)

会 派 名	議員数	電話番号
自由民主党京都市議員団	23人	222-3718
日本共産党京都市議員団	19人	222-3728
民主・都みらい京都市議員団	14人	222-3724
公明党京都市議員団	12人	222-3732
無 所 属	1人	222-3739

ご連絡・お問い合わせは
 市会事務局政務調査課
 ☎222 3697

11月定例会の会議日程(予定)

11月定例会は11月16日(金)から12月14日(金)までの予定です。

また、各会派の代表質問は11月20日(火)と21日(水)の両日、本会議場で行われる予定です。

市会ホームページでも、会議日程などを確認できます。

市会だより第42号(7月15日発行)の1面に次のとおり、誤りがありました。お詫びするとともに、訂正いたします。

箇所	誤	正
定例会の経過の2段目の日付	5月15日	5月17日

Web版は正しい表記になっています。

お知らせ
 更なる市会改革に向けて
 第3次京都市会改革検討小委員会を設置し

この程、京都市会では、昨年度に引き続き、市会運営委員会に「第3次京都市会改革検討小委員会」を設置しました。

これは、市会運営委員会理事及び正副議長をメンバーに、これまでの議論の成果と地方議会を取り巻く情勢を踏まえ、更なる市会改革を進めるため、政務調査費など様々な項目の検討・協議を行うためのものです。